

まちの

決算報告・財政状況のお知らせ

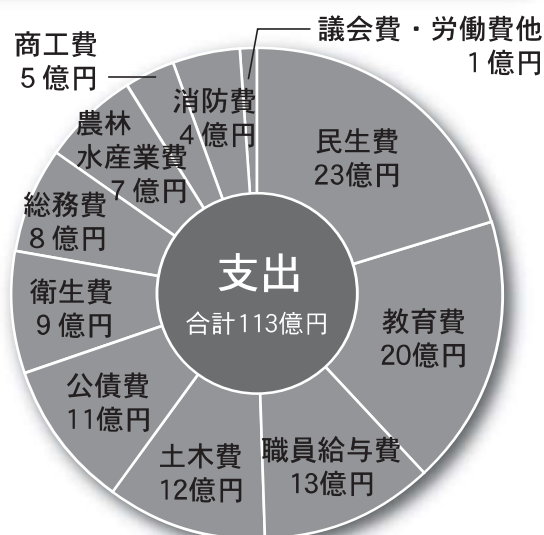
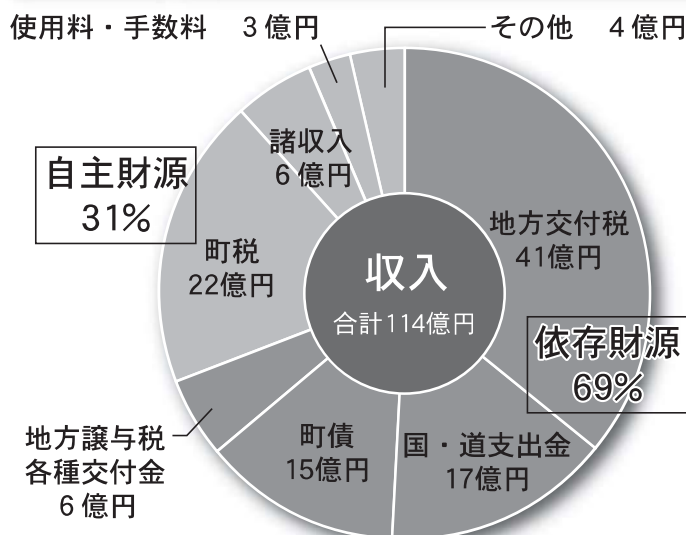
平成29年度

お財布事情

〈問合先〉 財務グループ財務担当（内線221・222）

01

一般会計の決算

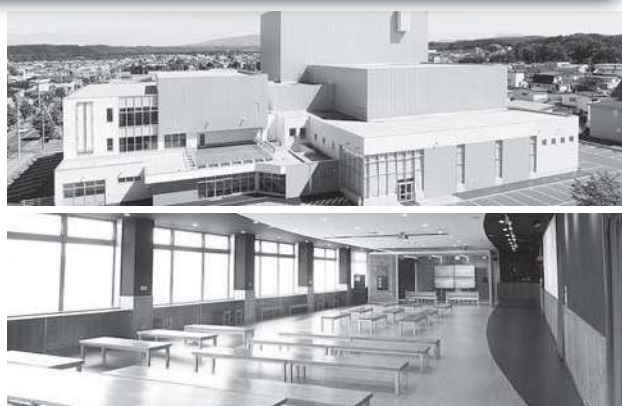


平成29年度一般会計の支出合計は、主に町民会館改築による教育費の増加と農林水産業費の施設整備費などの減少により、平成28年度とほぼ同額となりました。収入は、地方交付税など国や道から交付される財源である依存財源が全体の69%（79億円）で、まちで自主的に収入できる自主財源を大きく上回る状況で、国の予算に影響を受けやすくなっています。

02

平成29年度 まちの主な事業

子ども発達支援センター移転改修	2,090万円
予防接種の充実	3,668万円
母子保健・健康づくりの充実	5,469万円
ごみ収集運搬関連業務	1億1,191万円
農業生産基盤や集落環境の整備	2億6,016万円
道路の維持管理や整備	4億180万円
道路の除排雪	1億5,150万円
美幌峠レストハウス2階改修	3,960万円
小中学校施設の整備	6,024万円
町民会館の改築	10億2,361万円



03

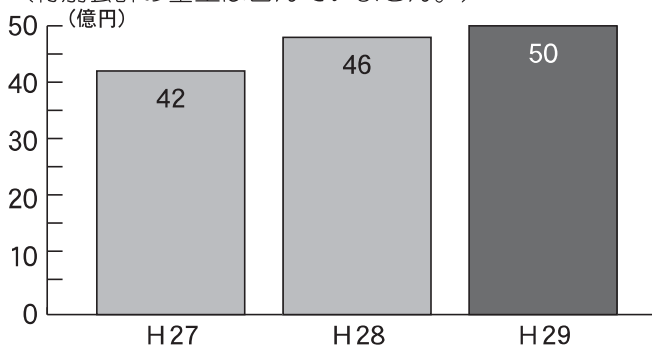
貯金と借金の状況

基金

町民1人あたりの貯金は、
約25万円(前年比+2万円)

基金とは、まちの貯金のことです。まちでは財政調整基金など全14種類の基金を積み立てています。平成29年度は前年と比較して約4億円増加しました。

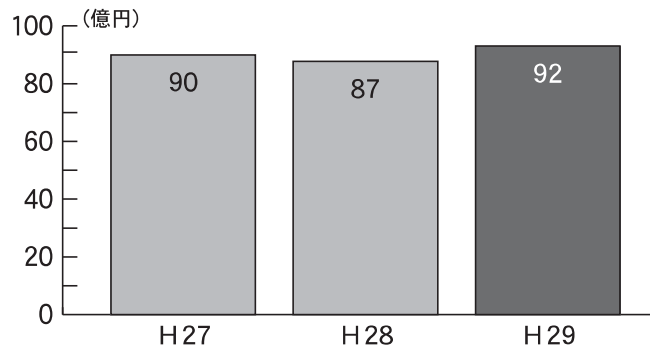
(特別会計の基金は含んでいません。)



町債

町民1人あたりの借金は、
約47万円(前年比+4万円)

町債とは、まちの借金のことです。公共施設の整備等により、その残高は増加しています。(特別会計と公営企業会計の町債は含んでいません。)



04

特別会計の決算

特別会計は、特定の目的のために独立して経理する会計です。いずれも黒字となりましたが、全会計で一般会計から決められた額を特別会計へ支出しています。

会 計 名	収入額	支出額	基金残高	町債残高
国民健康保険特別会計	31.0億円	30.2億円	2.0億円	—
後期高齢者医療特別会計	2.8億円	2.8億円	—	—
介護保険特別会計	17.6億円	17.6億円	4千万円	—
公共下水道特別会計	10.4億円	10.4億円	—	44.4億円
個別排水処理特別会計	9千万円	9千万円	—	5.1億円

05

公営企業会計の決算

公営企業会計は、民間企業と同じように利用料金などの収益で運営する会計です。水道事業は利益を得ている状況ですが、病院事業は一般会計からの負担により運営している状況です。

会 計 名	区 分	収入	支出	収支	企業債残高	給水人口	有収率
水道事業会計	収益的収支	5.6億円	4.2億円	1.4億円	18.5億円	18,873人	85.3%
	資本的収支	2.1億円	3.7億円	▲1.6億円			

※資本的収支のマイナス分は、内部の留保資金などで補填しています。

会 計 名	区 分	収入	支出	収支	企業債残高	入院患者数	外来患者数	町民1人当たり受診回数
病院事業会計	収益的収支	20.7億円	21.3億円	▲0.6億円	20.1億円	28,094人	73,734人	5.1回
	資本的収支	2.6億円	3.8億円	▲1.2億円				

※収益的収支のマイナス分は、現金の支出を伴わない支出(減価償却費や賞与引当金等)が約3.4億円含まれていることによるものです。資本的収支のマイナス分は、内部の留保資金などで補填しています。

【用語解説】

- 収益的収支…営業による収入と、その営業に必要な人件費や維持管理費などの支出の収支
- 資本的収支…建設工事を行う際の収入(国・道補助金など)と、建設・改良や機器などを整備するための支出の収支
- 企業債…公営企業会計の借金
- 有収率…給水する水量と、料金として収入のあった水量との比率。比率が高いほど漏水が少ないことを表します。

まちの財政は大丈夫？

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の成立に伴い、平成19年度から新たな財政指標の公表が義務づけられました。これらの指標は、地方自治体の財政の健全度を表し、町議会に報告するとともに、町民のみなさんへ公表する必要があります。

一般会計においては指標①から④までを、公営企業は資金不足比率を算定しています。

06

平成29年度決算に基づく健全化判断比率

美幌町の健全化判断比率は基準を下回っています。

指 標	内 容	健全化判断比率		増 減	早期健全化基準	財政再生基準
		平成29年度	平成28年度			
①実質赤字比率	一般会計の赤字の比率	比率なし	比率なし	—	14.15%	20.0%
②連結実質赤字比率	全会計の赤字の比率	比率なし	比率なし	—	19.15%	30.0%
③実質公債費比率	年間の借金返済額の比率	8.7%	8.9%	▲0.2%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	将来負担する見込みの負債の比率	比率なし	比率なし	—	350.0%	基準なし

基準を超えると…

- 早期健全化基準…「財政健全化計画」を策定し、自主的な改善努力により財政の健全化に取り組む必要があります。
- 財政再生基準…「財政再生計画」を策定するとともに、借金が制限されることとなりますので、道路や学校施設等の整備がなかなか進まなくなる可能性があります。
また、施設の使用料など、町民負担が増えることとなります。

07

平成29年度決算に基づく資金不足比率

公営企業に該当する特別会計について、料金収入等（一般会計からの繰入を含む）の規模に対する資金不足額の程度を示します。

数字が大きいほど経営が深刻化していることを表しますが、全ての会計において資金不足は発生していません。

会 計 の 名 称	美幌町の資金不足比率		増 減	経営健全化基準
	平成29年度	平成28年度		
水道事業会計	資金不足なし	資金不足なし	—	20.0%
病院事業会計	資金不足なし	資金不足なし	—	20.0%
公共下水道特別会計	資金不足なし	資金不足なし	—	20.0%
個別排水処理特別会計	資金不足なし	資金不足なし	—	20.0%

基準を超えると…

- 経営健全化基準…「経営健全化計画」を策定し、自主的な改善努力により経営の健全化に取り組む必要があります。

【平成29年度の決算にあたり】

限られた財源の中で行政サービスを維持・提供するため、事業の選択と集中に努め、健全な財政運営に取り組んでまいりました。町債の残高は、新たな借入金を抑制するなどして昨年まで減少していましたが、町民会館改築等の費用が必要となり、町債の残高が増加となりました。今後も多くの公共施設が更新時期を迎え、多額の維持更新費用が必要となり、町債の残高の増加が見込まれます。人口減少による町税や地方交付税の落ち込み、高齢化の進展を背景とした社会福祉費や扶助費の増加も予想され、財政状況は厳しい状況にあります。が、歳出の過剰な抑制は、行政サービスの低下を招き、町民のみなさんの生活に影響がでてしまいます。

収支バランスを考えながら、今後も持続可能な行財政基盤の確立に向けて、自主財源の確保、徹底した経費節減による行政のスリム化を図り、平成27年度に策定した「第6期美幌町総合計画」、平成28年度に策定した「美幌町公共施設等総合管理計画」に基づいた実効性と計画性のある取り組みを推進するとともに、平成29年度に見直した財政運営計画に沿って、財政の健全化と住民福祉の向上に努めてまいります。

財政状況の詳細は、ホームページでも公表しています。